

54 生産性の抜本的な向上を加速化する革新的新品種開発

令和8年度予算概算要求額 1,030百万円（前年度 380百万円）

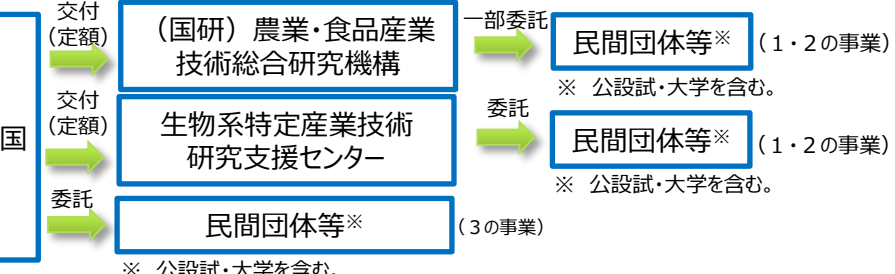
＜対策のポイント＞
生産性の抜本的な向上を加速化する多収性品種等革新的な特性を持った品種、開発した品種の利用拡大に資する栽培技術、省力的な種苗生産技術、育種素材の開発等を、新たに整備する高精度な分析機器も活用しつつ実施します。加えて、食料安全保障に関わる情勢の変化や気候変動等現場が直面している課題に対応した品種を迅速に育成するため、スマート育種技術を低コスト化・高精度化し、育種現場で簡便に利用できる育種効率化基盤を構築します。

＜事業目標＞
多収性、高温耐性等の特性を持つ、直面する農業課題を解決する基盤となる革新的新品種（35品種）の開発〔令和12年度まで〕

＜事業の内容＞

1. 政策ニーズに対応した革新的新品種開発 800百万円（前年度 200百万円）
- ① 食料の安定供給等を図るため、開発段階から生産者や実需者等のニーズを踏まえた、今後の国内農業の基盤となる革新的な新品種の開発
 - ② 開発した品種の利用の拡大に資する新品種の栽培技術、先進技術等を用いた省力的な種苗生産技術の開発
 - ③ 切れ目なく品種開発を継続するための育種素材の開発
- を産学官の連携により推進します。
2. より高精度な新品種開発のための分析機器等の整備 50百万円（前年度 - ）
より精度の高い特性評価等を行うことにより、ニーズに最適となる品種を確実に開発するため、新品種開発に必要な分析機器等を整備します。
3. 新品種開発を加速化する作物横断的育種効率化基盤の構築 180百万円（前年度 180百万円）
食料安全保障の確保等に貢献する主要穀物、野菜、果樹などの新品種をゲノム情報、AI、遺伝資源等をフル活用して高速・低コストで育成できる育種効率化基盤の開発を推進します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 政策ニーズに対応した革新的新品種開発

◆革新的な新品種の開発
(多収性、機械作業適性、高温耐性、病害虫抵抗性、高付加価値、BNI強化作物品種など)

◆栽培技術・種苗生産技術の開発、マニュアル作成

◆育種素材の開発

多収性的大豆品種（右）

生産性向上等により、食料・農業・農村基本計画の目標達成に寄与

2. より高精度な新品種開発のための分析機器等の整備

◆ニーズに最適となる品種を確実に開発するために必要な分析機器等を整備

- ・品種開発、栽培技術・種苗生産技術開発、育種素材開発に必要な人工気象室、分析機器等の整備

3. 新品種開発を加速化する作物横断的育種効率化基盤の構築

◆スマート育種技術を低コスト化・高精度化し、多品目に利用できる育種効率化基盤を開発

- ・多品目に利用できる作物横断的な育種情報データベースの構築
- ・育種AI等によって、最適な交配親の予測や効率的な選抜ができる育種支援ツールの開発
- ・作物形質の計測を効率化する高速フェノタイピング技術の開発

産学官の育種事業者等が利用できる育種効率化基盤を開発し、品種開発支援を一体的に推進

- ◆病虫害抵抗性
- ◆肥料利用効率向上
- ◆環境負荷低減等
- ◆の先進的な特性を持つ品種育成を加速化

【お問い合わせ先】（1・2の事業）
農林水産技術会議事務局研究統括官（生産技術）室（03-3502-2549）
（1の事業のうちBNI強化作物品種）
農林水産技術会議事務局国際研究官室（03-3502-7467）
（3の事業）
農林水産技術会議事務局研究開発官（基礎・基盤・環境）室（03-3502-0536）